

広報

浦安市

うらやす

主な内容

車いすラグビー日本代表 池崎大輔選手インタビュー	2面
令和3年度 教育功労者表彰式 ほか	8面

発行／浦安市
 所在／〒279-8501 千葉県浦安市
 猫実一丁目1番1号
 編集／企画部広聴広報課
 ☎047-351-1111(代表)
<https://www.city.urayasu.lg.jp>

各記事に掲載しているIDを、市ホームページ上の「広報ページID検索」に入力すると、該当ページが出ます。これにより、記事を探す手間を省けます

12月3日～9日は障がい者週間

自分らしく 生きる



12月3日～9日は障がい者週間です。障がいの有無にかかわらず、お互いの個性を尊重する共生社会の実現は、皆さんの気遣いや、相手への思いやりから始まります。体の不自由や加齢に伴う体の衰えなどがあっても、家族や地域の理解があれば、誰もが自分らしく暮らすことができ、活躍の場を広げることができます。この機会に共生社会の実現に向け、一人ひとりが普段の生活の中で実践できる配慮や工夫について取り組んでみませんか。

【問】障がい事業課 ☎712・6398



ワクチン3回目の接種に向けて



コロナ禍の一年となった令和3年も残すところあと1カ月となりました。

市民の皆様のご協力によって、現在、新型コロナウイルスの感染拡大は落ち着いており、このまま収束に向かうことを期待しています。

しかし、コロナ禍前の日常生活を取り戻すには、まだ時間がかかるものと思われ、引き続き、感染予防対策にご協力をお願いします。

新型コロナワクチンの3回目接種の実施について、国から基本的な方針が示され、市としても希望する市民の皆様が遅滞なく接種できるよう準備を進めており、今月から順次接種を開始します。

市では、2回目の接種後8カ月が経過した方に接種券を送付しますので、希望する方はインターネット、電話などで予約をお願いします。

現在、医療機関での個別接種のほか、市内2カ所に集団接種会場を設置する予定ですが、国の動向によっては、接種時期を早めるなどの対応も検討しております。

1・2回目を職域や国、県の大規模接種会場で接種した方へも接種券を送付いたします。武田/モデルナ社製、アストラゼネカ社製で接種された方も、市で使用するファイザー社製のワクチン接種が認められており、市の接種会場で接種を受けることができます。

1・2回目の接種が終わっていない方も、引き続き接種の予約受け付けを行っておりますので、希望する方は予約をお願いします。

接種をめぐる情報は刻々と変化しておりますが、年が明けた1月には、広報うらやすやホームページなどで、市民の皆様へ接種の詳細をお知らせできると思いますので今しばらくお待ちください。

12月3日からは障がい者週間です。誰もが明るい未来を迎えられるよう、令和4年も市役所一丸となって頑張ってまいります。

浦安市長 内田 悦嗣

障がいのある人もない人も かがやくまち うらやす

誰もが笑顔で暮らしていくためには、家族や地域など周囲の皆さんが、お互いの個性と人格を尊重し、認め合うことが大切です。ここでは障がいに対する理解を深めるため、障がいのある方の声を紹介します。皆さんも正しく理解を深め「やさしいまち」を実現していきましょう。

Interview!

パラリンピック車いすラグビー日本代表 池崎 大輔選手

市内在住。三菱商事(株)/TOKYO SUNS所属。東京2020大会車いすラグビー日本代表。2016年リオデジャネイロパラリンピックで銅メダルを獲得。2018年のワールドチャンピオンシップで優勝しMVPに輝いた。東京2020大会ではエースとして活躍し、銅メダルを獲得した。



● 6歳という若さで難病と診断

僕は6歳でシャルコ・マリー・トゥース病という筋力が低下していってしまう病気と診断されました。平坦な道でよく転んでいましたし、足がどんどん細くなっていってしまい病院に行ったところ、この病気だということがわかりました。

覚えている記憶だと、歩くこと、階段の昇降が大変でした。

足の筋力がどんどん落ちてくると足が変形してしまうので、常時器具をつけていましたし、小・中学校、高校のときは手術もしました。

● 思い返すと周囲の人に助けられていた

当時の僕はそんなに大変だと感じませんでした。周囲にいる友達が僕の歩く速度に合わせてくれたり、階段も一緒に上がってくれていたのが当時の僕は障がいがある、特別扱いを受けているという感じはしませんでした。今思うと僕の周囲では心のバリアフリーが当時からあったのかなと感じます。

● 浦安市に住んで

出身は北海道ですが、お世話になっているトレーナーの近くというところで浦安市に越してきました。お気に入りの場所はシンボルロードで、南国リゾートの雰囲気味わって旅に出た気分になります。道が広く、段差も少ないので利便性も景色もとても良いと感じています。

● 共生社会を目指して

やはり、みんなで寄り添い、当たり前のように助け合いながらというところが大切なのではないかなと思います。障がいの有無にかかわらず、誰でも自分一人で生きていくことはできないと思っていて、どこかで助けてもらって、自分が力を貸

してという関係で成り立っていると思います。そこに、障がい者という言葉の壁があるからどうしても一歩引かれてしまうと感じます。この壁をなくすには障がいの有無に関係なく、シンプルに“困っている人がいるから助ける”という意識でいてもらうのが一番良いのかなと感じます。

● スポーツとの出会い

障がいを持ってスポーツはできないと思っていましたが、岩見沢高等養護学校在学中に卒業生が作った車いすバスケットボールチームの練習を見に行った際にとても衝撃を受けました。障がいを持ちながらも、競技用の車いすで走って、パスしてシュートを決めている姿を見てカッコいいなという感情と同時にこんな世界もあるんだと僕の中で希望ができました。それがスポーツを始めたきっかけです。

● 車いすラグビーに転向そして日本を代表する選手へ

15年間車いすバスケットボールを続けましたが、思うような結果が出せず、悩んでいました。そんな中、北海道の車いすラグビーチームの方から誘いがあり、体験に行きました。障がい者に配慮された保護具やぶつかり合いの激しさ、パラリンピックの正式種目であるところに魅力を感じ、自分の障がいに合ったこの競技で世界に挑戦したいという思いで転向を決断しました。環境の変化に不安は感じましたが、練習を積み、日本代表という機会をいただきました。

● 今後の目標

今はパリで世界一になることです。でもこの目標は通過点だと思っています。最終的には浦安市をパラスポーツのまちにしてパラスポーツをきっかけに地域のコミュニティとして身近なものにしていきたいです。やはりそれを実現するには世界

一のプレイヤーになることが僕なりの近道だと考えています。

パラスポーツが身近な存在になれば障がいを持った方、持っていない方の交流が増え、障がいを持った方の接し方を学べる機会が増えるのではないかと考えています。また、次世代の子どもたちに世界へ挑戦するきっかけを与えていきたいです。

● 皆さんへメッセージ

障がいを持ちながら生きていく方というのはとても強い人間です。自分らしく生きることが大事だと思います。僕は障がいは個性ではなく「価値」だと思っています。自分らしく生きていく中で、自分の使命ややりがい、目標、夢ができると感じます。

難しいところではありますが、外の世界へ一歩踏み出して視野を広げてほしいと思います。そこで、障がいを持つ人、持たない人とたくさん接し、皆さんが自分の価値をどんどん教えていくことで障がいへの理解、そして支援や制度の質が向上していくものだと思います。その先に、障がいがある人もない人も誰もが自分らしく生きられるやさしいまちというものが実現していくと思います。



Sora Café x ワゴン

Sora Café (市役所10階)の商品は、総合案内前(市役所1階)でワゴン販売も行っています。障がいのある方が製作に関わっている商品などを販売しています。市では障がいのある方の活躍の場を広げ支援していきます。

ワゴン販売 [時] 毎週火・水・金曜日午前11時～午後2時(祝日を除く)
[所] 総合案内前(市役所1階)

やさしいまちを目指した条例

● 浦安市障がいを理由とする差別の解消の推進に関する条例

この条例は、障がいのある方への理解を深め、誤解や偏見などから生じる差別を解消するため、平成28年4月に施行されました。

● 浦安市手話言語等の理解及び普及の促進に関する条例

手話が言語であるとの認識に立ち、聴覚に障がいのある方に対する理解を深め、すべての市民が共生できる地域社会を作ることなどを目的に、平成30年10月に施行されました。市ではこの条例に基づき、手話などを使いやすい環境の整備や、学習機会の提供に取り組んでいます。



悩んだらすぐに 障がい者権利擁護センターへ



障がい者権利擁護センターでは、障がいのある方への差別や虐待に関する相談を受け付けています。また、障がいのある方から求められた配慮に、どのように対応するべきかという相談にも応じます。本人はもちろん、家族や関係者の方も相談できます。
[相談時間] 月～金曜日午前8時30分～午後5時(祝日、年末年始を除く)
[相談専用ダイヤル] ☎712・6837

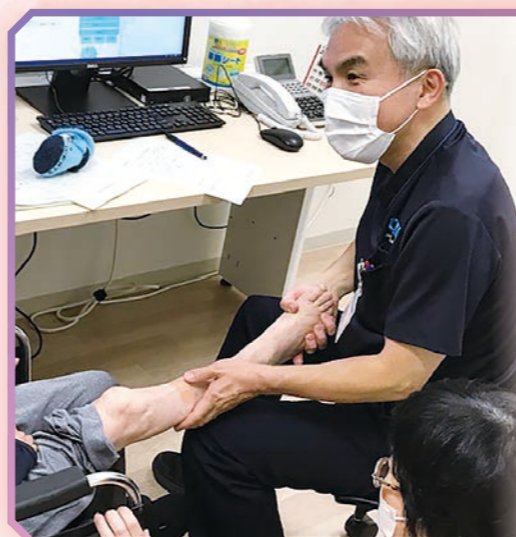
ハートフルヒューマンフェスタうらやすで 障がい者に関するパネル展示を行います

[時] 12月4日(土)午後1時～3時40分 [所] 文化会館
[内容] やさしいまちを目指したチーパくんメッセージパネルの展示など ※申込不要、直接会場へ



うらやすこころの バリアフリーハンドブック

障がいの特性や、困っている方を見かけたときの対応など、イラストを使って分かりやすく掲載しています。次の場所で配布しているほか、市ホームページからもご覧いただけます。
[配布場所] 障がい事業課、各公民館、各駅前行政サービスセンター、文化会館、市民プラザ、社会福祉協議会



タムス浦安病院で 補装具の判定が できるようになりました

これまで補装具判定は、千葉県中央障害者相談センターで実施される判定会場に行く必要がありましたが、出張判定会場にタムス浦安病院が加わったことにより、市内で判定を受けることが可能になりました。判定を受けるためには、事前申請と決定が必要です。詳しくは、障がい福祉課へご相談ください。
[問] 障がい福祉課 ☎712・6393

ご存じですか?

マークの意味

ヘルプマーク



外見から分からなくても、援助や配慮を必要としていることを知らせるマークです。このマークを身につけた方を見かけた際には、公共交通機関で席を譲るなどの思いやりのある行動をお願いします。



障害者ための 国際シンボルマーク

障がいのある方が利用できる建物、施設を表すための世界共通のシンボルマークです。駐車場などでこのマークを見かけた際は、配慮をお願いします。



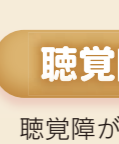
盲人のための 国際シンボルマーク

視覚障がいのある方のために安全やバリアフリーに考慮した建物、施設を表すための世界共通のシンボルマークです。主に信号機や国際点字郵便物・書籍などで身近に見かけるマークです。



耳マーク

国内で使用されている、聞こえが不自由なことを表すマークです。このマークを提示された際には、コミュニケーションの方法などの配慮をお願いします。



聴覚障害者標識

聴覚障がいであることを運転する車に表示するマークで、表示は義務となっています。このマークをつけた車に幅寄せや割り込みを行うと道路交通法の規定により罰せられます。



身体障害者標識

肢体不自由であることを運転する車に表示するマークで、表示は努力義務となっています。このマークをつけた車に幅寄せや割り込みを行うと道路交通法の規定により罰せられます。



オストメイトマーク

人口肛門・人口膀胱を造設している方のための設備があることを表すマークで、トイレの入り口などに表示されています。



ハートプラスマーク

身体内部(心臓、呼吸機能、じん臓など)に障がいのある方を表すマークです。このマークを身につけた方を見かけた際には、優先席を譲るなどの配慮をお願いします。